

第3号様式

令和6年度 第5回東部公民館運営審議会会議録

(令和7年5月 作成)

- 1 開催日時 令和7年3月27日(木) 午後3時00分～午後5時00分
- 2 開催場所 中央公民館 第8集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、加瀬委員、吉田委員、牧野委員、今井委員、本間委員、蠣崎委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
 - (1) 委員 舟橋副委員長、今井委員
 - (2) 事務局 なし
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
 - 公開 (1) 令和6年度 公民館事業報告(12月26日～3月31日)について
 - (2) 令和6年度 「事業評価」について
 - (3) 令和7年度 「年間事業計画」について
 - 非公開 (4) 社会教育関係団体の拠点変更(報告)について
 - (5) 社会教育関係団体登録申請(新規)について
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
 - 公開 (1) 令和6年度 公民館事業報告(12月26日～3月31日)について 承認
 - (2) 令和6年度 「事業評価」について 承認
 - (3) 令和7年度 「年間事業計画」について 承認
 - 非公開 (4) 社会教育関係団体の拠点変更(報告)について 承認
 - (5) 社会教育関係団体登録申請(新規)について 継続審議
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和7年4月24日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和 6 年度 第 5 回 東部公民館運営審議会
議事録

日	時	令和 7 年 3 月 2 7 日（木） 午後 3 時 0 0 分～ 5 時 0 0 分
会	場	中央公民館 第 8 集会室

午後3時00分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

それでは、定刻となりました。ただいまより、令和6年度第5回東部公民館運営審議会を開催いたします。

まず初めに、資料のご確認をお願いいたします。事前にお送りさせていただきました黄色の色表紙の令和6年度第5回東部公民館運営審議会の冊子、本日机の上に置かせていただきました、一番上に「令和6年度 東部公民館『目玉事業』の評価」とあるクリップ留めのものがございまして、めくっていただきますと、次が東部公民館の事業計画、もう一枚めくっていただきますと、館によっては1枚の場合と2枚の場合があるのですが、令和7年度、次年度の事業計画になります。これが東部公民館、次に、三田公民館、習志野台公民館、飯山満公民館、薬円台公民館の順番で一くりにさせていただきました。

その次に、別のホチキス留めで、「活動拠点変更届」と一番上にある社教団体の拠点変更についての関係書類になります。次が、船橋市社会教育関係団体活動報告書、こちらも何枚かホチキス留めさせていただきました。後でお話ししました2つのホチキス留めのものは個人情報がありますので、審査会終了後に回収をさせていただきます。よろしくお願いいたします。また、社会教育課のほうから来ております「船橋の社会教育」の厚手の冊子も今回配付をさせていただきました。資料は以上になります。

それでは、大塚委員長、ご挨拶のほう、よろしくお願いいたします。

○大塚委員長

皆さん、こんにちは。

今、3名の方々の新しい配置先のご紹介がありました。私も2年、3年とご一緒させていただいて、楽しい活動の中で東部公民館のいろんな行事を見させていただいて、大変だな。何年たっても公民館の事業というのは、担当者にとっては大変難しい内容も含まれているわけですね。大勢の市民が入ってくるということは、それぞれの考え方の違いや、いろんな部分がある中で、本当にご苦労さま、ありがとうございました。

今後も本庁の職員はじめ、船橋市のいろんなところでお仕事をしている皆さんが、やはり一人ではなくて、我々を含めて協力者がおりますので、何かあるときには必ず一言言っていただければ、できることは我々も努力をしていきたいと思っています。今後、どこへ行かれても一人ではないので、やはり意見を言う人もいるかもしれないけれども、多くの人は頼りにされているというふうな気持ちで、今後も頑張っていきたいと思っています。本当に長い間ありがとうございました。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。

ただいまから、令和6年度第5回東部公民館運営審議会を進めてまいります。

事前に、舟橋副委員長、今井委員より欠席のご連絡をいただいております。現在、委員 8 名のうち 6 名の方にご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立しております。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

なお、本日は運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきまして、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。大塚委員長、議事進行のほう、よろしくお願いします。

○大塚委員長

それでは、皆さんのお手元にありますとおり、公民館事業報告ということで、12 月 26 日から 3 月 31 日及び目玉事業について説明をいただきたいと思います。

初めに、東部公民館さんからお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございますが、事業報告としまして、昨年 12 月 26 日から、3 月 31 日までの事業報告について、説明させていただきます。

まず初めに、青少年事業としての「ハッピーサタデー事業」について、特に 2 月 22 日に開催いたしました「子ども春まつり」、これについて報告させていただきたいと思います。

子ども春まつりは、毎年、地域の団体の皆さんとの協力をいただきながら、前原児童ホーム全会場を利用して、遊びのコーナーを設置した中で子供たちの交流を図ることを目的に開催したものでございます。

この開催に当たりましての協力団体につきましては、子ども劇場やガールスカウト、それから、前原中学校のギター・マンドリン部の発表、中野木小学校の父親委員会、前原地区のスポーツ推進委員会など、10 団体の皆様のご協力をいただきまして、工作コーナーやゲームコーナー、体を使った運動コーナーなど、子供たちと一緒に交流を図ったものでございます。

特に今年工夫した点については、各会場の開催時間が重ならないように、時間の配分をずらしながら開催した中で、子供たちは様々なところで時間に余裕を持って遊ぶことができたという感想をいただきました。小学校の子供たちのほか、お父さん、お母さんと幼児連れの参加も多く見られた中で、大変なにぎわいの中でございました。特に工作コーナーは、年齢によっては難しい工作になるところではありますが、スタッフの方々が優しく丁寧に手を携えお話ししていただきながら完成に結びつけた中で、最後は完成できた子供たちの最高の笑顔を見ることができたと、団体さんからも報告をいただいたところでございます。

また、遊びのコーナーの玉入れ競争は、学校が異なり、また、学年も年齢も異なる、ふだん一緒にならない子供たちが、玉入れのゲームをやるにあたり、にわかに編成したチームの中でも、一致団結してチームワークよく勝ちを目指して、みんなで協力し合っている姿が印象的であったという報告もありました。今後も子供たちの笑顔のためにこういった子供たちの交流事業を継続していきたいと考えてございます。

延べ参加人数 2,325 人ということで、たくさんの子供たちに参加していただいたことをうれしく思っているところでございます。

続きまして、1枚ページをめくっていただいた右側の下のページ、途中で2行で切れてしまっているところではございますが、運営審議会委員の皆様にご案内状を出させていただき「東部地区5館合同事業『（仮称）東部公民館開館記念コンサート』」についてでございます。おかげさまで4月1日開館を予定しているところではございますが、その開館を記念いたしまして、3月30日（日）に開館記念コンサートを開催するものです。

内容について、この公民館の講堂のこけら落としとして、地域の館区内の学校、前原小、二宮小、中野木小の3校の小学校と前原中学校の全4校の吹奏楽部や合唱部の皆さんにご出演をいただくほか、ピアニストである関野直樹さん、この方は二宮小、中学校の卒業生、それから、バイオリニストの志村寿一さん、この方は前原小、中学校の卒業生、こういった地域のゆかりの方をお招きしての記念コンサートを開催するものです。5館合同事業という位置づけでもありますので、地区館の事業担当者との協力の中で、この事業を進めさせていただくことになりました。

このコンサートに先立ちまして、開館セレモニーとしてテープカットを行う予定でございます。委員の皆様、当日お待ち申し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、引き続き、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館から、令和6年12月26日から実施いたしました事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」から、2月の「子どもまつり」について報告いたします。「報告」の5ページの上のほうになります。三田習地区老人クラブ連絡協議会や船橋市三山・田喜野井民生児童委員協議会、東邦大学ボランティア部、アースドクターふなばし、三山児童ホーム、風船アート研究家の方に、ゲームや工作などのコーナーを担当していただきまして、ボーイスカウト船橋第9団、ベーカリー&お菓子工房ろーずまりーによる模擬店を行いました。昨年よりも2団体出し物が増えたことと、ボーイスカウトによる豚汁うどんと綿あめが模擬店として増えまして、開催の規模がコ

ロナ前と同じぐらいに戻りました。

また、参加人数も延べ人数ですが今回 1,160 名で、昨年の 534 名に比べ、約 2 倍に増えております。また、新型コロナウイルスが発生する前、令和元年度が 911 名、平成 30 年度が 1,208 名だったのですが、それに比べましても、同じくらいの人数まで回復してきていると感じました。この人数を減らさないように、今後も楽しい企画をしていきたいと思っております。

続きまして、成人対象の事業です。6 ページの「中国料理講座」でございます。こちらは新規事業になりまして、事業計画シートの 40 番です。目玉事業となっております「国際交流講座 水ぎょうざ作り教室」の講座を行いました。第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画のリーディングプロジェクトである共生社会の実現のための国際交流の事業として行いました。計画シートには、「ベトナム料理講座」となっておりますが、講師のベトナムの国際交流員の方が退職されたことに伴いまして、中国の国際交流員による中国料理講座に変更となりました。中国の家庭料理である水ぎょうざの作り方を教わりまして、また、ぎょうざをゆでている時間には中国の文化を教わりました。皮からつくりましたので時間がかかりましたが、出来上がりがとてもおいしく、参加者からも好評でした。中国の文化に触れるよい機会になったと思います。

その下の「歴史講座」ですが、毎年、大河ドラマの時代の内容で講座を行ってりましたが、今年度は講師の方の都合が合わなく、中止となりました。

続きまして、高齢者対象です。期間内の「三田寿大学」は、実行委員の協力をいただきながら記載の内容を実施いたしました。令和 6 年度につきましては、高齢者の健康に役立つ知識や運動、音楽コンサート、他国の文化についてなど、様々な内容を実施いたしました。最終回の 3 月には、「みんなで歌おう」を開催いたしました。こちらはコロナ禍を挟みまして 5 年ぶりの開催となりまして、久しぶりに合唱を楽しむことができました。来年度も高齢者の皆さんに役立つ講座、楽しめる講座を実施してまいりたいと思います。3 月 13 日の「みんなで歌おう」の参加人数を申し上げます。男 12 名、女 48 名、計 60 名です。

続きまして、そのほかの事業から、「三田ふれあいコンサート」について報告いたします。ページが 8 ページになります。このコンサートは、毎年三山市民センターで行っていましたが、今年度は建物の改修工事のため、三田公民館の体育レクリエーション室で実施いたしました。サックス奏者の中村健佐さんをお迎えしまして、ソプラノサックスとアルトサックスの演奏を聴きました。ゆったりとした癒しの音楽を披露してくださいました。アンケートでも満足度が高く、今後も続けていきたいコンサートとなっております。

三田公民館の報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の記載の事業報告をさせていただきます。

まず、9 ページ、青少年事業でございますが、「ハッピーサタデー事業」、3 月 22 日開催のコンサートでございます。「スプリングコンサート」といたしまして、バイオリン、チェロ、また、ピアノなど、4 名の出演者が参加した子供たちに合わせて楽しい音楽を聞かせてくれました。子供も飛び跳ねて喜んでおりましたので、大変子供たちにはよかったのかなと思っております。そちらの参加者の記入をお願いいたします。男 20 名、女 37 名、計 57 名でございます。

ハッピーサタデー全体の評価でございますが、2 月の「こどもまつり」を含めまして、たくさんの子供たちが参加してくれて、あらゆる体験をすることができたと考えております。また、こどもまつりも、昨年度は日曜日のほうが 10 時から 3 時までということで、ちょっと時間が長めの開催をしておりましたが、今年は 2 時までということで時間を短くして開催し、「非常によかった」というアンケート、また話も出ております。毎回、地域の参加団体などと話をしながら、よりよい内容で実施できるように調整しており、今後ともそうした団体との連携を図りながら開催していきたいと考えております。

次に、成人事業でございます。同じ 9 ページ、「ときめき講座」、一番下でございます。こちらは、地区の生涯学習コーディネーターとの協働事業として開催しております。今回は、ボイストレーニングを通して健康づくりを行う講座として開催いたしました。評価や参加者は記載のとおりでございますが、大変大勢の参加がありまして、また、講師も歌や体操など、講師本人の楽しいトークも交えながら大変好評な講座となりました。

習志野台公民館では、生涯学習コーディネーターとの企画事業として 2 つの講座を実施しております。コーディネーター会議でいろんな意見を出し合いながら毎年決めており、コーディネーターさんはいろいろな情報を持っておりますので、協力しながら今後も開催していきたいと考えております。

次、10 ページに参りまして、高齢者事業でございますが、「習志野台寿大学」の 2 月 20 日の講座でございます。江戸東京博物館の学芸員さんをお呼びして、東京にございます大名庭園のお話をいただきました。資料を交えて講師から楽しくお話をいただいて、講座終了後に参加者の方も、「自分たちで行ってみよう」というような声も聞かれまして、参加者が出かける機会とすることもできたのかなと考えております。

寿大学の評価でございますが、こちらも運営委員の方と協力して開催しております。アンケートの意見も取り入れたりしながら、今年度もコンサートや健康体操など、いろんな分野の内容を提供することができたと考えております。来年度は習志野台公民館が給排水設備の工事により 6 月から休館となりますので、寿大学自体は休講とすることにしております。またそちらも運営委員と一緒に考えながら、近隣の高齢者が楽しく参加できるように、令和 8 年度に向けて考えていきたいと思っております。なお、3 月 13 日の「ス

プリングコンサート」の参加者の記載をお願いいたします。男13名、女86名の計99名でございます。

次、11ページに参りまして、「ハッピーサロン」の3月17日の人数は、男0、女5、計5名。

その他事業ですが、人数の記載をお願いいたします。12ページに参りまして、「将棋開放」の3月14日の参加者は、男8名、女0名、計8名。その次、「卓球開放」の3月16日、こちら、男5名、女6名の計11名。最後に、13ページ、「子育てサロン」でございますが、3月26日、男3名、女16名の計19名でございます。そのほか、28日に開催する事業もございますが、そちらは終了次第ホームページ等に記載させていただきたいと思っております。

習志野台公民館は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

先ほどの11ページの3月17日は、何人ですか。

○習志野台公民館長

「ハッピーサロン」、3月17日は、男0、女5、計5名です。

○大塚委員長

計5名ですか。ありがとうございました。

次に、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業報告をさせていただきます。

まず、青少年対象事業の「ハッピーサタデー事業」です。昨年度まで、5月から2月まで9回行っていましたが、参加者が少ない回があったため、今年度は5回にしました。くまちゃんのカップケーキづくり、かけっこ教室、テラコッタの雪だるまづくり、アニソンクラシックコンサートということで、これは、講師謝礼を少し多めにかけまして、外部からその道の専門の講師をお呼びして本物に触れさせる体験を企画しました。どの会も応募状況がよく、子供たちにより機会を提供できたと思っております。

また、「はさま子供まつり」は、例年どおり、飯山満中学校区青少年の環境を良くする市民の会ほか地域の諸団体の方にご協力をいただき開催し、お天気にも恵まれ盛況に終えることができました。今年度、このやり方が好評だったので、次年度も同様の形で実施していきたいと思っております。

次のページに移りまして、高齢者対象事業「飯山満寿大学」の3月13日の人数のご記入をお願いいたします。男12名、女55名、合計67名です。

次にその下、「介護福祉士ダンサーと踊ろう！昭和歌謡ダンス」です。少しハードな動きも、明るく元気な講師の指導で、一生懸命ついていっておりました。講座後のアンケート

トでは、「音楽に合わせて楽しく踊ることができた」「もっとやりたい」など、好評だったため、次年度は館側もサポートをして、サークル化を目指したい事業としております。

次に、「70 歳からの美容教室」です。顔のマッサージの仕方やお化粧品方法を学び、実際にお化粧品してみると、参加者はいくつも若返ったように見えました。表情も生き生きとし、講座後のアンケートでは、「人に会う機会が楽しみになった」「気分が上がった」「前向きになった」など、とても喜んでいただきました。あえて 70 歳以上に限定したため、皆さん同年代で、グループの中で話も盛り上がり、楽しくフレイル予防になったと思っております。

次に、一番下のその他対象事業の「ゆびとま子育てサロン」です。児童ホームが離れているせいか、毎年、参加者が少なかったのですが、参加者には登録票というものを取っていて、登録票によると、児童ホームでも毎月実施しており、チラシも置いており、そこで知って来館される方が多いようでした。今年から中央や東部の保健センターにもチラシを置かせてもらっており、この調子で参加者が増えることを期待しております。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

次に、薬円台公民館さん、お願いいたします。

○薬円台公民館長

薬円台公民館の該当事業の主な事業について報告させていただきます。

青少年事業、「ハッピーサタデー推進事業」となります。3月2日の「やくえんだい子どもまつり」、この日はお天気がよく、子どもまつり日和でした。昨年よりも来館者が多く、今年からボーイスカウト船橋第24団さんによるフランクフルト、子ども食堂をされている薬園台カフェさんに豚汁とおにぎりを新規で販売していただき、充実した模擬店の開催となりました。子ども食堂さんからは、「子どもまつりに参加したことにより多くの方に知っていただくことができました」という感想をいただいております。また、集会室のコーナー遊びも増やしました。ただし、模擬店につきましては、数が読み切れず早めの完売となったり、催し物についても待ちの長蛇の列ができてしまいました。来年度は、販売数を増やすなど、団体と協議していきたいと思っております。

続きまして、同じページ、「ロボラボ教室」になります。コーディネーターを対象としたサポート養成と、子供を対象としたロボラボ教室本番に分かれており、サポーター養成を行うことで、当日の進行も非常にスムーズになりました。参加者もプログラミングの仕組みなど興味深く学んでいる様子で、時間いっぱいまでロボットカーを動かして楽しんでいました。親御さんの見学もありました。アンケートでは、「貴重な経験ができた」「ロボットが思うように動いてくれたときは、達成感があって楽しかった」「失敗しても先生たちが、『惜しい!』と言ってくれたので、楽しく諦めずに取り組むことができた」など

の感想がありました。

続きまして、19 ページ、「薬田台南小学校PTA家庭教育セミナー」となります。前回計画では未定として掲載させていただいておりましたが、学校の学習進行状況により、第4回については中止となってしまいました。

続きまして、21 ページ、「ふなばし音楽フェスティバル薬田台ふれあいコンサート」になります。昨年よりも定員を増やしましたが、それでも45分で定員に達し、キャンセル待ちもすぐいっぱいとなり、ふれあいコンサートの注目度の高さが実感できました。また、篠笛・能管という和の楽器について興味を持つ方が多く、「篠笛とギターという和と洋のコラボレーションをぜひ聴いてみたい」との声を、申込み開始前から多くいただいております。コンサート当日も、有名な曲とオリジナル曲とを混ぜた内容で、迫力のある曲、聞き入ってしまう曲とメリハリがあり、非常に質の高いコンサートとなりました。アンケートでは、「優しく激しくの演奏に大変感動しました」「篠笛は初めて聞いたけれども心に響きました」「篠笛とギターの音色がとてもきれいでよかったです」「オリジナル曲も心が温まる曲でした」との感想がありました。また、多くのアンケートに、「機会があったらぜひまた聴きたい」という記載が多かったことから、多くの方に響いたコンサートだったと感じております。また、今回のコンサートは、当日の欠席がとても少ない状況でした。

続きまして、同ページ、「地域課題発見・解決事業」になります。地域の団体「むねあかどり」さんからの提案で、この審議会にもかけさせていただきました事業になります。当日は、雨・風予報でとても寒い日になりました。申込みは123名ありましたが、参加は89名でした。参加人数をご報告いたします。男12名、女77名、合計89名になります。年代の内訳は、9歳までが4名、10代が5名、20代が0名、30代5名、40代17名、50代13名、60代11名、70代20名、80代10名、不明が4名となりました。

周知につきましては、広報掲載、小中学校図書館、公民館へのチラシ配布を公民館で行い、講話をしていただいた平安堂こころのクリニックのチラシ配架、ちいき新聞への掲載、フリースクールへの配架、友人紹介などは団体が行いました。多くの方に見ていただくという意味においては、公民館の影響もあったのかとは思いますが、悩まれている当事者層へのアプローチは、団体さんの力のほうが大きかったような気がします。

映画会の後は、児童精神科の医師の話、続いて、希望制による座談会を輪になって開きました。座談会への参加は33名と、予想より多くの方が参加してくださいました。いろいろな体験や悩み、情報の交換の場となり、医師の説明も加わって、とても貴重な機会となりました。

今回の事業の評価といたしましては、この集会の場はとても意味のあったいい事業であったとは思いました。ただ、今回のテーマが「不登校、起立性調節障害」ということでしたけれども、一回限りの場では解決まではもちろんいかず、この先つなげていくという

観点からすると、共催相手は公民館のみでよいのかというように感じました。もちろん、公民館という公共の場で集まりやすい、それぞれ違った層へのアプローチができたなど、意味は大変ありましたが、内容によっては所管部署、専門部署が関わらないと、この先につなげていくには難しいのではとも思いました。アンケートでは、「この映画を見る機会、起立性調節障害を知る機会ができてよかった」「心に響きました」「座談会で地域サポートの内容が知れてよかった」など、ご意見をいただきました。

薬田台公民館の説明は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございます。

○東部公民館長

委員長、ただいま5館の報告事項をお話しさせていただきましたが、今年度最後の運営審議会でもございまして、本日、各館の目玉事業の評価として、資料を提出させていただきました。目玉事業の評価について、続けて報告させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○大塚委員長

はい、お願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館からは、事業名「バスハイク～見て学んで楽しもう！水族館&科学館～」について報告させていただきます。本事業は、12月の公民館運営審議会でも報告させていただいたところでございますが、事業のねらいについては、青少年の事業ということで、生涯学習部の「ふなばし一番星プラン」に掲げる「青少年の豊かな心の育成のための取組の推進」をテーマに、地域の団体の協力を得ながら、特に子供たちが自然に親しむ、そして、子供たちの豊かな交流を図ることを狙いとすることで開催した事業でございました。

評価につきまして、本事業については、青少年相談員の東部ブロックの皆さんのお力添えを賜りながらの共催事業として、毎年バスハイクを開催しているものでございます。バスハイクを通して、施設の見学やバスの中でのレクリエーションを通して、子供たちの盛んな交流が図られているものでございます。異なる学校の子供たちが集って、その中で一つのグループが生まれるということで、お互いに声をかけ合い、助け合いながら協力し一日過ごしたことは、子供たちにとって貴重な経験、体験になったものと私どもは考えております。こういった自然と向き合いながらの体験事業、交流事業というのは、子供たちにとって大変有益なものと私たちは捉えておりますので、今後も引き続き進めていきたい事業と考えているところでございます。

以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

○東部公民館長

続きまして、三田公民館さん、引き続きお願いしたいと思います。

○大塚委員長

では、それぞれの公民館さん、引き続き、順序立ててお願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館からは、先ほども報告させていただきましたが、3月6日に実施いたしました「国際交流講座 水ぎょうざ作り教室」、こちらが「目玉事業」となっております。先ほどと重複してしまうのですが、第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画のリーディングプロジェクトである「共生社会の実現のための国際交流」の事業として行っております。こちらは部屋が小さいということもありまして8名という少数ではありますが、満員となりまして、数名お断りしなければいけないような状況でした。本格的な水ぎょうざ作りでして、皆さん、講師と参加者同士、交流をしながらつくることができました。アンケートのほうでも、「初めて手づくりの皮の水ぎょうざをいただいて大好きになりました」とか、また、「他国の文化や習慣を知るよい機会になりました」ということでお話をいただきまして、少ない人数ではありましたが、和やかな国際交流の場になったと思います。

三田公民館は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の「目玉事業」の評価についてご報告いたします。

「習志野台郷土史講座」でございしますが、この事業はサークル応援講座の一つといたしまして、習志野台公民館登録の社会教育関係団体、習志野原歴史研究会と共催で開催、実施いたしました。

こちら9月の運営審議会でお話しした内容ではございますが、参加者、評価に関しましては、資料に記載したとおりでございます。当館の登録団体であります歴史研究会の活動におけるボランティアガイドの育成、また、毎年、春と秋に歴史散策ということで講師もお願いしております関係で、外での活動についてのボランティアガイドの育成、また、会員の増加ということを目的として開催して、今回は3回の講座を実施いたしました。3回ですが、講師が5人おりまして、内容は大変濃かったのですが、こちら時間少なく感じることもありました。講座に参加された方のうち1名が、サークルの会員としてその場で加入してくれたということを聞いておりますので、当初目的は達成することができたのではないかと考えております。

また、こちらの団体に限ってということでは当然ございませんが、たまたま今、パネル

展示ということで、歴史研究会で、4月中旬までパネル展示を公民館で開催しておりますので、そうした活動でも、団体の活動・運営と、また、会員増を図っていけるのではないかなと考えております。

習志野台公民館は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして、飯山満公民館さん、お願いします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の「目玉事業」の評価についてご報告します。

「体験して感じて！見えないってどういうこと？」という講座と、それを動画コンテンツ版にしたものの2つを同時にさせていただきます。事業のねらいといたしましては、多文化共生（障害者理解）のための学習ということで、アイマスクをつけた白杖体験を通して視覚障害者への理解を深める、2番として、同じ障害者理解の講座を動画コンテンツとして公開し、広く視覚障害者への理解を深めるの2つになっております。

評価といたしましては、「国籍の違い、障害の有無など、多様な人々との交流・体験の機会を提供し、相互理解を促すことにより、『共生社会』実現に向けた取り組みの充実を図る」、これを今年度の重点目標の1つといたしました。見えない（弱視、視野狭窄）とはどういうことや、白杖の種類・意味などについて、講義と体験を併せて学ぶことで、参加者が身をもって視覚障害について理解できる講座となりました。

講座後のアンケートでは、「とても勉強になった。実際体験できる機会をありがとうございました」「目が見えない人の気持ちが分かったような気がした」「これからは白杖を持っている人がいたら声をかけようと思う」などの感想があり、障害者理解という点では、期待以上に意味のあるよい講座になったと思います。この講座により、視覚障害者がまちを歩くときの状況を少しでも感じて、その上でどのようなことに気をつければよいのか、考えるきっかけとなることを期待したいと思っております。

障害者理解は重要な課題ですが、公民館ではどうしても参加者を獲得しづらいため、実施した講座を動画コンテンツ化することで、時間も場所も選ばず、より多くの方に講座に接してもらいました。また、1事業分の予算で、公民館へ足を運んでくれる方の何十倍もの方に学習する機会を提供できる結果となり、非常に有効な手段であると実感しました。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、最後に、薬円台公民館さん、お願いします。

○薬円台公民館長

薬円台公民館の「目玉事業」は、「親子で省エネ&エコクッキング『チャーシューを作

ろう！』」を行いました。子供 16 名、大人 12 名、合計 28 名の参加となりました。夏休みを利用して、環境に配慮した「省エネ&エコクッキング」を親子で体験しました。保温や余熱を利用した省エネ調理法と、野菜を無駄なく使い、生ごみを減らすなど、チャーシューをつくりながら親子で環境に優しい調理について実践し、環境について考える機会といたしました。

評価ですが、環境について親子で考え、実施する有意義な時間となりました。また、ゆったりとした親子の時間が確保できました。野菜を無駄なく使えたのはどこの班が一番かということで、事業の最後には、班ごとにごみの計量を行い、盛り上がりました。環境への意識も高まったようです。

反省点としては、本来は、保温調理をしている待ち時間で、特別企画のソーラークッカーでつくったケーキを食べる時間としていたのですが、当日曇りであったため、ケーキの出来上がる時間が遅く、待ち時間が長くなってしまいました。想定して、何かほかの企画も用意しておけば、よりよかったのかなと感じました。

アンケートでは、「次もやりたい」「おうちでもつくりたい」「包丁を使うことが楽しかった」、また、保護者からは、「ふだん親子クッキングをあまりしてあげられないので、ゆっくりとその時間を取りつつもエコについて考えることができてよかった」「野菜が落とし蓋になるとは、目からうろこでした」「知らないお友達と会話しながら仲よくクッキングができてよかった」「保温調理をもっと利用しようと思います」などという多くの声をいただきました。

薬円台公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

今回は、通常の事業報告と目玉事業について評価という形で、いかにこの目玉事業の中身が、それぞれの市民にとって大変いい環境を知らせることと、それから、それぞれが思っている部分についてのきちんとしたものができていると、今皆さんの説明を聞いて思いました。

私は、先に言うてはいけないのですが、この目玉事業をもっと大きな形で知らせることの研究も必要なのかなと。単にここで報告書をつくって出すだけではなくて、もっとこれを、実際にこういうことをやったということをホームページでも何でもいいんですけども、多くの人の目に見えるような部分はないのかなと。今、皆さんの話を聞いていて、一生懸命の中で、市民にとっていい方法で知ってほしいという部分が出ていると僕は思いますので、今後の課題としてひとつ残していただければありがたいと思います。すみませんでした。

それでは、公民館事業報告（12/26～3/31）及び目玉事業について、ご意見、ご質問ございますか。

○加瀬委員

飯山満公民館さん、県警の音楽隊ですが、これはどなたかルートをお持ちだったんですか。

○飯山満公民館長

いいえ。やりたいなと思って県に直接お電話をしたら、管轄の警察からまず通してくださいということで、東警察の警務課の方にお問い合わせしたらとても快く引き受けてくれて、私たちは何もしないで、その方が全部取り付けてくれてやってくださったんです。その方は異動になったようですけれども。たまたま空いていたのと、日にちが合ったのでよかったのだと思います。感想を言っていないですね。とても良かったです。皆さん大喜びで。

○加瀬委員

依頼するにあたっての費用はどうでしたか。

○飯山満公民館長

無料です。地域の警察だから、一番近い自分のところの警察から行ってもらってくださいということです。

○加瀬委員

ありがとうございます。

○大塚委員長

警察官の方々も市民に直接触れ合うというのはなかなかないから、ちょうど向こうもよかったんじゃないですか。

○加瀬委員

何でもそうだけれども、練習している皆さんは披露する場が欲しいんだよね。練習だけでは飽きてしまう。だから調整さえすればできるんだ。

○大塚委員長

向こうと調整の話をして、半年先でもいいから、そういう部分ができるということを、熱意を込めてやれば、行政については所長でも何でも話をすればできると思う。

○加瀬委員

ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかに何か、委員の方で意見ございますか。
どうぞ。

○本間委員

東部公民館、毎日通勤途上で、だんだんきれいになるなと思いながら毎日見て、本当に30日のオープニング、楽しみに参加させていただきたいなと思っております。

それから、全部の報告の中で「ハッピーサタデー」の報告がとてもよくて、今本当に毎日毎日ゲームばかり家でやっている子が、体を動かせるチャンスがなかったから、こうい

うときにいっぱい出てこられるといいのかなと言いながらも、本当に出てきませんからね。恩寵園だって子供はもうこれしかないのです。今日もミュージカルの招待があったから行ったんだけど、子供には絶対にゲームは持ってくるなど。せっかくの披露なのにそんなのを見ているのは許せないから駄目というふうにして、今楽しんでいて、もう終わったと思いますけれども。やっぱりそういう体を動かせるチャンスはなかなかないから、いいのかなと思いつつ見えています。

それと、習志野の目玉のほうで、去年もちょうど熱中症アラートが出た頃、7月の下旬とか中旬に通ってくるのは私はちょっとつらいなと。13時は一番暑い時間かなと思いつつ見えています。いらっしゃる方たちも結構高齢の方たちだと思うので。

さっきのソーラークッキングも、天候が駄目で太陽がなかったからということですが、そういうところも考えてやっていくのは本当に大変だろうなと思います。去年は本当に異常な熱中症アラートだったので、我々の事業もすごく悩みに悩んで、夏には行かない、秋に連れて行くという施設も結構多かった。こういうのもいろいろ検討していく必要があるのかなと思いつつ読みました。特に若い子はいいいんだけど、年寄りが多い。熱中症は怖いので、よろしくお願いします。

○大塚委員長

ありがとうございました。

ほかに何か、委員の方で意見ございますか。

それでは、これからご承認いただくのですが、2つに分けさせていただきます。

まず、公民館の事業報告(12/26～3/31)について、採決をとらせていただきます。それでは、各公民館分、一括して承認の採決をとらせていただくことをお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全委員の方から承認をいただきました。

それから、今年初めて、「目玉事業」の評価ということで、東部公民館さんのほうからこれだけの資料を出していただきまして、ありがとうございます。

私が先ほども話したように、目玉事業という意味合いは、公民館事業報告よりも、一番特記的なものとしてみんなに知らしめたいという中身だと僕は思うんですね。そうすると、新たに目玉事業という形のを報告書の中に特別に入れるということを考えていただけたらどうかな。一歩進んだような気がするんです、この目玉事業の評価というものを見たときに。やっぱり時代が変わってくれば、いろんな評価が出てくると思うのですが、この評価というのは、我々の事業によって市民の方がより深く、子供なり、大人なりの体制がだんだん深くなっていくんじゃないかな。学校だけが教育ではなくて、こういう市としての事業が、新たな開眼というのかな、新しく気がついたところで今進めていると

いうところは、知らしめる必要もあるのかなと思います。

これについては私の意見なので、皆さんのほうで、この目玉事業はこのままでいいんじゃないのと言えればそれでよし、また、皆さんのほうで、公民館事業報告とその中の目玉事業として1項目入れましたよということでも私はいいのかなと思いますので、皆さんのほうでご意見があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

皆さんの意見よりも、公民館長さんからどうでしょうか。まず、東部公民館長さん。

○東部公民館長

目玉事業の位置づけについては、全部で5ブロックある中では、目玉事業でこうやって年度末に取り上げているのは、東部公民館のブロックだけとっております。公民館運営審議会の事業計画、事業報告という形は、事業の期間を、5回の運営審議会に基づいて割り振った中での事業計画・報告をさせていただいております。その中で、今委員長がおっしゃったところを入れましょうというのは、やはりこちらのほうも整理が必要だと思います。で今日ご意見を頂戴した中で、今後、どう対応していくかというのを検討させていただく時間をいただければと思っております。

○大塚委員長

ぜひ検討していただきたいと思います。この目玉事業の意味というのは、1年間の事業の中で、その公民館のそれぞれが目玉事業としている意味はもっと深いと思うんですね。今回の5館の目玉事業というのは、それなりに意味があると思っております。新しい形の中で何か一つ出るとすれば、今のところ、この目玉事業というのはすごくいいのかな。

要するに一番大事なことは、その公民館だけではなくて、船橋の全公民館が、新しいことで市民のためにこれだけの力を込めてやっているわけじゃないですか。それを市民にも知ってもらおうということは何らかの方法でさらに進歩させたいなと思っているのが一人いるよということなので、これについては公民館さんのほうで検討していただいて、今年、来年、再来年、分かりませんけれども、結果を出していただけたらと思います。無理にということではなくて、そういう意見もあったということでご検討いただければありがたいと思いますので、ひとつお願いをしたいと思います。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○大塚委員長

各公民館からの事業報告等につきまして、ご承認をいただいてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、次第(3)「令和7年度『年間事業計画』について」、東部公民館長さんより順次説明をお願いいたします。委員の皆さんのご意見は、全公民館からご説明を受け

てから頂戴いたします。

それでは、東部公民館長さんからお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館の事業計画、資料は、また別刷りでございます。事業計画と、2枚目はA3判のシート「事業計画シート」という構成でございます。5館ともに事業計画の構成ですが、1、2、3と大きく分かれております。地域の状況が1番目、2番目に地域の課題、最後に重点目標を掲げているところでございまして、次の【様式5】のA3のシートについては、表面と裏面、7年度の事業計画、まだ未定の部分もありますが、今のところ、予定している事業を一覧表に載せたものでございます。

まずは、事業計画からでございますが、書いてあることを全部説明していますと時間がかかってしまいますので、お伝えしたいことを申し上げたいと思います。

東部公民館においては、1番、2番は書いてあるとおりのことで、特に3番目の重点目標の中で申し上げたいのは、先ほどの目玉事業でも申し上げました(2)の青少年育成ということでは、青少年の体験活動や主体性を伸ばしていく事業に取り組んでいくといったところは、特に重点として置くものでございます。

それから、裏面になります。(5)に、オンライン講座ということがあります。コロナ対応のときはオンライン講座を開催してまいりましたが、公民館の活用の幅を広げることから、ふだん公民館の利用ができない年齢層にも公民館利用を促進する意味でも、オンライン講座を進めていきたいと考えております。

(8) 共生社会の実現については、引き続き障害者の方の理解を深めるための事業を実施する。

最後、(9) 生け花や茶道などの伝統文化の継承に努める。

これら特に申し上げたいと思った中で、事業計画シートにうつらせていただきますが、この番号のところに二重丸が印てあるのが目玉事業、1つの丸は新規事業という位置づけでございます。

まずは、目玉事業、共生社会の実現ということでございますが、トライアスロン選手でございます秦由加子さんの講演事業を開催することを目玉事業として掲げるところでございます。パラリンピックにも出場いたしました。千葉県出身の方ということで、このたび、5月18日に東部公民館にお招きして講演会を開催するというので、これからこの方と講演内容の細部を詰めた打ち合わせを進める中で、共生社会の実現の講座を開催する予定でございます。

続きまして、オンライン講座です。オンライン講座につきましては、8番目、去年に引き続きののですが、自宅にいながらでもオンラインによるヨガを体験できる講座をやりたいと思っています。

それから、ナンバー18でございます。これもオンライン講座という位置づけなのです

が、今年度、津別の映像を現地と結びながら旅行体験をする講座を開催した中で、大変好評でございましたので、これもオンラインを活用した中で、現在、講師と打合せを進めているところですが、今回は外国にしようということで、現地とオンラインで結んで、公民館にしながら海外旅行を楽しむような、オンラインを活用した講座を進めていきたいと考えてございます。

それから、最後 19 番目、日本の伝統文化ということでございますが、「いけばな・茶道教室」ということで、今回の東部公民館の改修工事で和室に炉を設けることができました。伝統文化の継承、講師の方々も若い人たちにどんどん経験をしてもらいたい、なかなか文化の継承が図られていないのが現状であるということもおっしゃっていた中で、生け花と茶道を、公民館管区の子供たちに体験する機会を提供していきたいと考えてございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、引き続き三田公民館さん、お願いします。

○三田公民館長

三田公民館の令和 7 年度事業計画についてご説明いたします。

【様式 4】、令和 7 年度三田公民館事業計画をご覧ください。まず、【様式 4】の「1. 地域の状況」です。こちらは、人口と世帯数については、令和 6 年 4 月 1 日現在のものとなっております。そのほかの部分につきましては、令和 6 年度と変わっておりません。

続きまして、【様式 4】の「2. 地域の課題」と「3. 重点目標」についてですが、記載の 5 つの地域課題に基づき 5 つの重点目標を立て、事業を実施してまいりたいと思います。

特に前回と変更になったところ、加筆しているところは、2 の地域課題の（3）「台風や大雨など公民館での避難所開設等が増えている。また、船橋地区別防災カルテによると、千葉県北西部直下地震があった場合、想定される地震の強さが震度 6 強となっており、甚大な被害が想定されるため、地域の防災意識を高める必要がある。」ということで、こちら、地震の部分が増えております。実は、船橋市内、内陸のほうですと 6 弱を想定されているのですが、三田習地区につきましては 6 強というふうに表示されております。こちらは耐震が必要になってくるかと思いましたので、このように付け加えてみました。

また、（5）として、20 代から 50 代の若い世代の利用が三田公民館は少なくなっておりますので、こちらのほうも加えております。

次に、【様式 5】をご覧ください。令和 7 年度の新規事業についてご説明いたします。新規事業は、4 番「夏休み学習スペース開放」、12 番「はじめての楽器講座」、13 番「料理講座」、15 番、内容未定となっておりますが、こちらが「健康・体力づくり、仲間づ

くり」の講座の4つとなっております。

10 番の「歴史講座」にも丸がついておりますが、こちらは、すみません、既存の講座となっておりますので間違いです。

4 番の「夏休み学習スペース開放」につきましては、夏休みの期間中に空いている部屋を小中高校生に開放し、勉強に使ってもらうものです。8 月は暑さが厳しくなったこともあり、サークル活動を夏休みとしているサークルが多いので、空き部屋が増えております。お子さんが勉強に来られた際に、空いているお部屋を案内しまして、勉強していただくというような事業となっております。管内内の 3 小学校、2 中学校にチラシを配布しまして、ホームページにも掲載して、利用を促す予定でおります。

それから、11 番「はじめての楽器講座」、12 番「料理教室」は、20 代から 50 代の若い世代の方の参加を狙いまして行いたいと思っております。11 番の「はじめての楽器講座」は、目玉事業となっております。楽器は、「カリンバ」という、板に 17 本の金属、平たい棒がついた鍵盤楽器を使います。カリンバは、YouTube などの動画サイトで人気ที่ 広がりまして、音が小さいことと親指だけで演奏できる手軽さで、コロナ禍のおうち時間の趣味として広がった楽器となっております。特に若い方に人気の楽器ですので、公民館をあまり利用しない若い世代の方の参加を期待しております。

また、「料理講座」は、見た目もよく、おいしい料理とスイーツづくりの講座として、若い世代の方に来ていただこうと思っております。

15 番の内容未定のものは、令和 6 年度は、「はじめてのスクエアダンス教室」を行った枠になっておりまして、健康・体力づくり、仲間づくりのできるものを現在考えているところです。

三田公民館の説明は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続いては、習志野台公民館さん、お願いします。

○習志野台公民館長

それでは、習志野台公民館の令和 7 年度事業計画についてご説明いたします。

まず、事業計画、【様式 4】をご覧ください。「1. 地域の状況」は、記載のとおりでございますが、習志野台地区は、私立と公立を合わせまして、小中学校 6 校、高等学校 2 校、大学 2 学部が存在する文教地区でございます。

また、「2. 地域の課題」でございますが、令和 7 年度は 5 つの課題としております。内容は記載のとおりでございますが、そうした課題に対しまして、「3. 重点目標」といたしまして、それぞれ 5 個掲げてあります。(1) が主に青少年、(2) が家庭教育や子育て支援、(3) が情報格差やリカレント、(4) が高齢者、(5) がサークルの活動や地域連携についてということで、重点目標を設定しております。

こうした内容を踏まえまして、次に、一覧表のほうの令和7年度事業計画の目玉事業及び新規事業についてご説明させていただきます。先にお話しいたしますが、先ほどお話しいたしましたように、習志野台公民館は令和7年度に給排水設備改修工事がございます。6月から3月まで休館ということで、事業自体は数的には少なくなっております。

まず、目玉事業でございますが、24番、リカレント教育といたしまして、「メイクアップ講座」を設定いたしました。こちらは、先ほどの事業計画、【様式4】の重点目標(3)に記載してございますが、時代の変化に応じた学習機会を提供することに即して開催いたします。講座では、メイクやカラーコーディネートを学び、自分自身の魅力アップやコミュニケーション能力向上を図ることを目的として開催いたします。今後の仕事上の活動ですとか自分の魅力を高める方法を学んで、生かしていただければと考えております。ターゲットは、特に年齢制限を設けているわけではございませんが、30代から50代をメインと考えております。

なお、講座開催場所は、日程は未定ですが、工事休館のため、坪井公民館と共催事業で、坪井公民館の集会室をお借りして開催ます。隣の地域であり、また若い世代が大変多い地域でもございますので、そうした方に来ていただけるのではないかなと考えております。

続きまして、新規事業でございます。丸がついているものですが、17番「千葉ジェッツ シニアダンス教室」、25番の「歴史散歩」、26番の「まち探訪」、27番の「小学生親子見学会」というものを設定してございます。

休館もありますので、外の散策ということで講座のほうは多くしているところではあります。その中で、27番の「小学生親子見学会」でございます。重点目標の(1)にございますように、子供たちの体験型学習機会の提供に即して設定いたしました。こちら、地域の大学でございます日大の理工学部で科学技術史料センターというミュージアムがあります。そちらを小学生の親子で見学する講座としております。また、見学だけでなく、簡単なワークショップなども、今、講師のほうと調整しているところでございます。地域にある資源を活用して、子供たちにいろいろな分野に興味を持ってもらうことを目的として開催する予定でございます。日程は調整中でございますが、一応6月実施ということで検討をしているところでございます。

習志野台公民館は、工事という状況もありますが、地域団体、また、コーディネーターと協力しながら、7年度はこちらの事業計画で進み、8年度に開催が滞りなく行えるような改善や調整を逐次図りながら進めていきたいと考えております。

そのほか、講座に関しましては記載のとおりでございます。

習志野台公民館の説明は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の事業計画、【様式4】のほうですが、地域の状況は変えておりません。地域の課題ですが、(1)のところの内容の書き方を変更しました。2002年から土曜日が休みになって22年もたちました。当初は子供の居場所づくりなどが必要だったかもしれませんが、最近は親子でお出かけする家も少なくない。ただし、お出かけできる家ばかりではない。経済状況だけではなく、ご両親の仕事の違いもあり、世帯の状況には差があるということで、公の機関である公民館での講座は、無料または材料費のみの安価で参加できることもあり、どんな家庭の子供も同じように学習や体験の場を提供する必要があると考え、(1)の課題といたしました。それに合わせて(3)の重点目標も立てております。

次のページの事業計画シートをご覧ください。まず、目玉事業ですけれども、10、11、12と3つつけてあります。先ほどお話ししたように、ハッピーサタデーの年5回のうちの3回を、子供がやっている裏で親御さんの事業を展開しようと思っております。お子さんがやっている間、送りに来て迎えに来てくれる方もいれば、そのままその事業を見ていらっしゃる方も多いので、その間、お父さん、お母さんにも事業に参加していただければと思ひまして、今年はこの展開をしようと思っております。もちろんハピサタは、子供だけの参加もオーケー、パパ・ママの方も、ハピサタに子供が参加していない方でもオーケーとします。2つ同時に講座を行い、なおかつハピサタに参加する子の小さいきょうだいの保育を保育ヘルパーさんをお願いして、この3つは託児つきで行おうと考えております。主催するこちら側はとても大変だとは思いますが、成功したら親子とも楽しんでいただけるのではないかと思います。

10番の「ボタニーペインティング体験」、これは、親子ともに違うお部屋で体験をしていただきます。終わった後に、お互いで見せ合えればいいかなと思っております。

11番、子供は、ハロウィンダンスパーティーの準備をしてダンスをやっているところで、パパ・ママは実習室でカップケーキづくり、最後に、お子さんたちは仮面をつけて発表会をしてもらおうと思っております。

12番は、子供は実習室でクリスマスランチづくりをし、お母さんたちは、「マクラメタペストリー」という、糸やひもを手で編んだり結んだりしてつくる壁掛けのインテリア雑貨をつくっておいいただき、お昼に子供たちがつくったランチをパパ・ママと一緒に食べるということを想定しております。

そのほか、一重丸が新規事業になっております。13番、「鉄オタ先生が語る『楽しい鉄道あれこれと駅弁の旅』」、これは、千葉市のほうで講師をされている先生がとても楽しいということなので、「乗って楽しい列車と駅弁」「列車に乗って関東を旅しよう」「千葉の駅弁を旅しよう」ということで、3回講座で、2回目のときに何種類か有名な駅弁の

注文を取って、3回目には買ってきてみんなで食べていただこうと思っております。

14 番、「日本最古の酒蔵“須藤本家”と日本最大の採石場“石切山脈”をめぐるバス研修」、ユネスコの無形文化遺産に登録された伝統的酒づくりと、全国有数の歴史的建造物に使用されてきた稲田石について学ぶバス研修を計画しております。

15 番は、社会教育課のほうでアンケートを取ったので、これをやりたいと言ったのですが、まだ実行できるかどうか分からないということなので、15 番は保留にさせていただきます。

16 番「イラストで描く私の暮らし」、日々の暮らしで出会う「好き」を描き留めることを目指したイラスト講座です。

17 番「体験して感じて！パラアスリートに教わるポジティブな車いすの世界」、車いす体験を通して障害者への理解を深める。講師に、陸上競技選手としてパラリンピックに2大会出場し、引退後の現在は、ハンドサイクリストとしてアスリート活動が続けながら、コーチとして新たな陸上競技選手の育成に力を入れている花岡さんという方をお招きします。介助体験ではなく、病院型の車いす体験、セミオーダータイプの車いす体験、競技用車いすの体験と、3つお持ちいただけるそうです。乗るものが変われば、車いすでも機能性や用途に大きな差があることを感じるができる講座だということで、それをやりたいと思っております。

18 番は、今年と同じように、これを生涯学習チャンネルで公開したいと思います。

23 番、「誰でも踊れる！ライフホップダンス」、6 年度にやったダンスが好評だったので、サークル化を目指し、全4回で計画しております。

24 番、多文化共生のための学習、ボリビア出身の講師による文化紹介と調理実習になります。ボリビアはどこかといいますと、南アメリカ大陸のほぼ中央、アンデス山脈の奥地だそうです。世界遺産のポトシとかスクレとかウユニ塩湖などがあるそうです。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは最後に、薬円台公民館長さん、お願いできますか。

○薬円台公民館長

薬円台公民館の令和7年度事業計画について説明させていただきます。

まず、薬円台公民館の地域の状況に絡めて、公民館の利用状況をお話しさせていただきます。薬円台公民館の管区といたしましては、東部ブロックで一番少ない世帯人数となっておりますが、利便性のよさや、隣接地域であるが薬円台公民館のほうが管区公民館よりも近いということで、こちらを利用されている方も多い状況です。また、図書室や児童ホームの利用も大変多い状況となっております。令和6年度は、東部公民館が閉館しているため利用が増えております。また、7年度につきましては、6月から習志野台公民館が閉

館となるため、6月の施設予約状況では本館で活動される団体さんが多く確認できております。また、管区外の学校、飯山満小学校や二宮中学校からも職業体験やまち探検などの申込みがあります。ほかの公民館で聞く老人クラブさんの公民館利用は少ないように思いますが、全体的に来館者は多く来ていただいているものと思っております。管区の枠を超えた利用をしていただいております。

それでは、地域課題とそれに即しました重点目標についてご説明いたします。【様式4】をお願いいたします。

(1)は、子供たち、また、親の支援について掲載しております。児童の状況ですが、公民館区の小学校3校では、令和6年度は5年度に比べ、どの小学校も微減の状況です。令和4年と5年でも微減でした。地域や学校と連携し、体験学習や乳幼児親子の交流を図ってまいります。

(2)になります。地域の連携や交流の場、地域の方の活躍の場になるような機会を設けます。生涯コーディネーターや地域の団体との協働事業を行います。薬田台の生涯学習コーディネーターはとても活発なほうだと思っております。そのほか、コンサート実行委員、子育てセミナー企画委員、楽学企画委員、福寿大学実行委員など、多くの方に携わっていただいておりますが、メンバーの年齢が高齢になってきたことなどから、新しいメンバーも募集しておりますが、こちらはなかなか増えない状況になっております。また、地域の団体さんとは私のほうもいろいろと話し合える仲になりまして、例えば地区社協さんのほうから、ふれあいサロンに出ただけのサークルを紹介してほしい、小学校の船っ子教室にサークルを紹介してほしい、また、地区社会協議会の主催する防災講座には声をかけていただき、私のほうが参加させていただいている、そのような形で関係が築けるようになりました。

(3)、(4)は、記載のとおりとなります。

また、(5)気候変動や地震などの災害、気候変動を誘発する環境事業については、年代を問わず学習してまいります。こちらの事業は、単独講座としては集客が難しいため、講座事業の1つに環境を取り上げるなど工夫をしながら行ってまいります。また、昨今、高齢者の事故、詐欺や強盗などが多いことから、船橋東警察署の方に講話をいただく予定です。

それでは、【様式5】をご覧ください。①、②は、青少年事業になります。新規事業といたしましては、UVレジンでキラキラキーホルダーを作成します。また、環境の観点から廃油を使ったキャンドルづくりをいたします。子供の想像力でものづくりができるような体験を実施してまいります。

番号が前後いたします。17番「やくえんだい楽学講座」で、企画委員による4回の講座を実施いたします。「紅茶について」「船橋の生物多様性」「編集者50年の備忘録・私が出会った魅力ある作家たち」「馬頭琴コンサート」などを行います。船橋の生物多様

性につきましては、今年が目玉事業に挙げております。環境政策課で、10年に一度の大規模自然環境調査を「アプリでいきもの調査！」と題して実施するため、それに伴う講座を実施し、調査に参加していただきたいと考えております。

生涯学習コーディネーター事業としては、13番から16番となります。発酵食品の力として、キムチづくりやロミロミマッサージなどを行います。こちらはハワイ語で、押す、摩擦するなどの意味を持っております。

そのほか、18番の「クリスマスのお菓子づくり教室」では、家ではうまくできない、でも、つくってみたいといったようなお菓子づくりを実施します。

20番の事業では、文化課の学芸員を講師とし、「遊びながら美術鑑賞 ふなばしアートカードワークショップ」を行います。

高齢者事業としては、25番、福寿大学、26、27の介護予防を行います。体操、歴史、文化、共生文化、環境について学んでまいりたいと思います。

薬円台公民館からの説明は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。各公民館からの令和7年度事業計画についてご説明をいただきました。

なお、今回は、この事業計画の中身の、それぞれの地域の状況、地域の課題、重点目標ということで整理をされて、我々にとっても大変ありがたいなと思っております。

委員の方からご意見あれば、お願いをいたします。

○牧野委員

習志野台公民館さんにお伺いしますけれども、今、北習志野のところに、三菱地所かな、マンションが大きく建っておりますよね。あちらの人数の増え方ですとか、その方たちに、公民館がありますよというようなお知らせは、いかがでしょうか。

○習志野台公民館長

実はこの間、11月だったか、説明会がありまして、住民の方が結構いらっしゃってりました。その中で、もともと住んでいらっしゃる方も結構いらっしゃって、皆さん、あの辺りの方はご存じなのかなと実はちょっと感じていたところです。

○牧野委員

そんな感じなんですね。あまり外から入ってくるような要素は。

○習志野台公民館長

いらっしゃると思います。

○牧野委員

まあ、いらっしゃるんでしょうね。

○習志野台公民館長

またそうした方にも、来年度は文化祭ができないのですけれども、文化祭号とか館報で

は周知していこうとは思っております。この間、たまたま新しいマンションの説明会があって、知っている人が結構来るなと思っておりました。

○牧野委員

住民票を届けたときに、あその支所でお渡しとか。

○習志野台公民館長

そうですね。場所がちょっと離れていますので、そうしたことも考えてはみたいと思います。

○大塚委員長

もう入居していますか。

○牧野委員

そろそろですかね。大体出来上がって。

○習志野台公民館長

もう住んでいらっしゃる方もいらっしゃると思います。その説明会をやっていたらいいので。

○大塚委員長

1つ空いているところは、また建てるんでしょう。

○習志野台公民館長

今ちょうど12街区だったかな、ごめんなさい、ちょっと記憶が定かではないです。今ちょうど1つ壊して、更地になっているところがやっていますね。

○大塚委員長

別々みたいだけどね。会社も別々だけれども、そういう話ですよ。

○習志野台公民館長

そうですね。

○牧野委員

あと、それこそ近隣公園の西側も今壊していますものね。また人数が増えてくるということですよ。

○習志野台公民館長

そうですね。あそこがちょうど更地になっていますので。

○大塚委員長

だんだん古くなっているから、もうそろそろ。

ありがとうございました。あと、委員の方で何かご質問、またご意見がありましたらお願いしたいのですが、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、各公民館からの令和7年度の事業計画についてご説明をいただきました。委員の皆様にご質問等をお伺いしましたけれども、今ご意見をいただきました。ついては、令和7年度の年間事業計画について採決をとらせていただきたいと思います。

それでは、各公民館一括して承認の採決をとることといたします。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございます。全員賛成の挙手をいただきました。ありがとうございました。年間事業計画につきましてはご承認をいただきました。これから非公開の内容になりますので、ひとつよろしくをお願いいたします。

— 非公開審議 —

議題(5)の社会教育関係団体の登録（新規）についての審議は、船橋市情報公開条例第7条の不開示情報を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要項第8条第3号の規定に基づき、記載を省略します。

議題(5) 社会教育関係団体の登録（新規）について 承認

○事務局（東部公民館長補佐）

すみません、今お話がありました活動拠点変更届と新規団体の申請書の書類につきましては、個人情報が含まれますので、机の上に残しておいていただけますでしょうか。

○大塚委員長

2通ですね。

○事務局（東部公民館長補佐）

はい、そうです。

次回の審議会につきましては、4月にまた令和7年第1回がございますので、お日にち等、ご案内させていただきます。

この裏に書かせていただいたのですが、4月24日（木）3時から、東部公民館の音楽室ということで、従前、改修前におきましては審議会を行っていただいております部屋が音楽室という形で改修をさせていただきました。会議とかも行いますので、そちらのお部屋での開催を予定しております。開催通知も出させていただきますので、よろしくお願いいたします。

委員長、事務局からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、令和6年度運審を本日で終わらせていただきます。長い間、ありがとうございます。また来年度、ひとつよろしく願いいたします。

それから、新しいところに行く皆さんは、また頑張ってください、顔を出してちょっと見に行くこともあるかもしれませんが、ひとつよろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

○東部公民館長

委員長、東部公民館は4月から開館はするところでございます。皆さんにお越しいただくところではございますが、4月の1か月間程度は、地下の駐車場は引き続き、不具合な箇所がありますので、改修工事ということで、1か月間は閉めさせていただくということで、皆様にご連絡を申し上げているところでございます。大変ご不便をおかけしますが、おおむね1か月間程度は、地下の駐車場の入庫はできませんので、申し訳ございませんが、ご承知おきいただきたいと思います。

利用できる見込みが立ちましたら、ホームページで、ご案内できるかと思いますが、おおむね1か月程度、利用団体の皆様には、周知のほうを進めているところでございます。

以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございます。

それでは、これで令和6年度第5回の公民館運営審議会を終わらせていただきます。長時間ありがとうございました。

午後5時00分閉会